

**三重県私費海外留学生体験記**  
**大川 世令奈さん（イギリス・ロンドン）**  
**ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス大学**  
**開発学部国際開発と人道危機修士課程コース**

**2018年10月更新**

**・あなたの留学の目的は何ですか。**

私の夢は紛争や災害などで被害を受けた社会的弱者の力になることである。その夢の実現には、国際機関等で専門性を生かし戦力になることが必要であり、修士号取得が同じ舞台に立つための必須条件だからである。また、日本とは異なる社会で勉学を行うことで自身がマイノリティになる経験を活かし、今後国内外で異なる環境で異文化適応に苦しむ外国人などと接するとき少しでも彼らに寄り添うことが出来ると考えるからだ。

**・専攻している(する予定の)科目の学習内容について書いてください。**

専攻コースは人道支援と開発学に特化している。緊急援助支援に関する理論的な学び以外にも、国際機関への視察やプロジェクトドキュメントの分析等、実践的な授業を通し、現在の緊急援助や開発の業務で問題解決出来る人材育成を目指している。卒業論文では、人道支援から長期開発支援への転換期に焦点を置き、「人道支援と長期開発支援の連帯強化」をテーマに取り組む予定。紛争や自然災害などにより生まれる難民・移民や、社会問題の長期化を防ぎ、援助慣れを生まない支援体制の構築など、人道支援の現場での問題を最小限に抑えられる方法を模索したい。

**・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。**

正規留学したイギリスの大学を二年前に卒業していたため、語学のテストやスコアは必要なかったが、志望理由書(Personal statement)、履歴書、成績証明書の取り寄せ、卒業した大学の教授から推薦状二枚を書いてもらうための連絡等、提出物が多かったので入学1年前の8月末から準備に取り掛かった。また出願時は海外に駐在していたため、予想以上に時間のかかることもあり、10月中旬に始まる大学院の願書受付に間に合うようスケジュールを立てた。

**・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。**

留学サポートエージェントのBEOの無料サービスは受けていたが、自分自身で大学のホームページを通し、留学先の大学院の調査をした。また、志望校の卒業生と直接話し、大学の雰囲気や自身が学びたい分野の研究をしている教授が在籍しているかの情報を探した。また大学時のDissertation supervisor(卒業論文アドバイザー)にも候補に挙げている大学院とコースについて相談し、アドバイスをもらった。

**・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。**

留学校のLSEは社会科学に特化した大学で、世界ランキング2位の名門校だ。また在

籍する学生の 3 分の 2 が留学生で、教授も含め、非常に国際色が強い大学である。コースは社会科学の分野の開発学に属し、理論的な学習に加え、実際に多くの人道支援に関わってきた教授の元で政策分析や助言を行う実践的な授業もある。また国際機関へのスタディツアーやキャリアフォーラムもあり情報収集及び人脈作りの面でもサポートがあることが決め手になった。

**・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。**

2016 年 7 月から 2018 年 6 月末までタンザニアに青年海外協力隊として国際機関の世界食糧計画(WFP)に派遣されていた。WFP タンザニア支部で唯一の外国人スタッフとしてプロジェクトのモニタリング・評価の業務やレポート作成等を行い、業務外では現地語であるスワヒリ語を駆使し、近所のタンザニア人と食事や生活を共にし、現地に溶け込む生活を心がけていた。